

一 次の1～3の問いに答えなさい。

1 次の「」のひらがなを漢字に直しなさい。送りながが必要なものはそれも書きなさい。

- ① ひかく製品を洋品店に納入する。
- ② 机の上をせいけつに保つ。
- ③ 宇宙のひろがりにはさいげんがない。
- ④ 理科のせいせきが上がる。
- ⑤ 早く実行に移すべきだといく同音に言う。
- ⑥ ボス猿は、群れをひきいている。
- ⑦ 最もけわしい道筋を選んで登山する。
- ⑧ 四月になってころよい風がふいてきた。
- ⑨ 銀行に全財産をあずける。
- ⑩ いいにおいが風であたりに広がりました。

2 次の①～⑤の文の「」に入る語を、後のア～ケの中から一つずつ選んで、記号で書きなさい。同じ記号は二度使いません。

- ① デパートの衣料品売り場で、春物の洋服を三「」買った。
- ② 紅葉の美しさに心打たれて、短歌を一「」詠んだ。
- ③ 人数が一人増えたので、箸をもう一「」持ってきてもらった。
- ④ 今朝目覚めて庭に降りると、梅の花が一「」咲いていた。
- ⑤ お年寄りのために、椅子をさらに五「」用意する。

ア 脚 イ 口 ウ 膳 エ 台 オ 着 カ 首 キ 輪 ク 句 ケ 対

3 次の①～⑤の文の「」に入る語を、後のア～クの中から一つずつ選んで、記号で書きなさい。同じ記号は二度使いません。

- ① 相手チームとの実力の差を「」見せつけられた。
- ② 意見を聞き入れてもらえず、彼は「」引き下がった。
- ③ 彼女は昔のことを思い出して、「」涙をこぼした。
- ④ 二十年ぶりの同窓会に、母は「」出かけていった。
- ⑤ ふしくれたった母の手を、私は「」ながめた。

ア いそいそ イ こんこん ウ しげしげ エ すすこと
オ なみなみト カ ぬけぬけト キ はらはらト ク まざまざト

二 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

カタツムリの殻が汚れているのを見たことがありますか？ ありませんよね？ その殻は、たとえ汚れがついたとしても、少しでも雨が降れば、すぐにきれいになってしまいます。

人間が作った建物の外壁は、雨が降っただけではきれいにならず、ア 掃除しなければ汚れが落ちないのに、カタツムリの殻はどうして自然にきれいになるのでしょうか？ その秘密を探るために、殻の表面を見てみましょう。

カタツムリは生まれたときから殻をもっています。この殻の材料は体の中から供給されます。つまり体液。タンパク質やカルシウムが溶けこんだ液体（体液）がその基本的な材料です。

殻は成長とともに大きくなります。つまり、真ん中にあるところがいちばん若い時の殻で、イ 足されていくのです。成長にしたがって殻には年輪のような線（成長線）ができます。この線は目でも見えます。ところがこの線のほかに、殻の表面には、目に見えない小さな溝（しわ）が、たくさんあることがわかりました！ それは電子顕微鏡で ウ 見えるくらいの小さな溝。そんな溝が、目に見える成長線と成長線の間に、エ 並んでいたのです。

殻の表面に並ぶ溝や、その素材と、殻がいつもきれいなことの間には、どんな関係があるのでしょうか？

それを調べた人たちがいます。ある日、雑談をしていた彼らの中のひとりが、オ つぶやきました。「カタツムリの殻も家だよな」。それを聞いていたのが、タイルの製造で知られるINAXという会社で技術開発とその研究をしている井須紀文さん。最初は「え？」と思っただけだといいます。しかしやがて、「……たしかにそうだ。カタツムリは自分で家を作って、自分でメンテナンス（補修）もしている。何かのヒントになるかもしれない」と、仲間とともに実験をしてみることにしました。そんなある日のこと、水中で油滴をくっつける実験をしたところ、カタツムリの殻にはどうしても油滴がつかなかったのです。「殻を作っている成分だけを考えれば、つかないはずがない」と井須さんはいいます。しかも油はとも付着力が強く、殻に似た成分の*方解石の方にはくっついたのに、なぜ殻にはつかないのか？

つかないどころか、おしあてて無理にくっつけようとしたところ、油の方がするりと殻の表面をすべって逃げてしまったのです！

この結果に井須さんたちは驚きました。そして調べた結果、その大きな理由が表面の細かな溝にあることをつきとめたのです。殻は体液——いわば水が作った組織ですから、水とは④ 相性がいいということはおかたっていました。そこにてこぼがあるために、水をよせつける面積がふえ、溝はさらに雨どいのような役割をして殻全体に水を広げているのではないかと井須さんたちは考えました。溝の間隔も関係しているかもしれません。

そのおかげで、カタツムリの殻はいつもうっすらと⑥ 水をまとっている状態なのです。雨が降らなくても空気中の水分を引きつけますし、カタツムリによっては、土の成分のひとつである*シリカをまとっているもの⑤ さいいます。土は水との相性が抜群で、さらに強く水を引きよせるからです。

水をまとっている、なぜ汚れないのでしょうか？ ハスの葉は、水をはじくことで汚れを落としますが、③ カタツムリは、水を引きつけることで汚れを落とすのです。

水をはじく性質を「撥水性」といいますが、反対に水を引きつける性質を「親水性」といいます。カタツムリの殻は、とても強い親水性だったのです！

井須さんたちと一緒に殻を調べたことのある石田秀輝さんは、殻をおおっているうすい皮は*キチン質でできていて、キチン質というのは、

問三 ①「だから読書休憩室でRちゃんから話し掛けられた時は、驚いて上手く返事ができなかった」とありますが、「私」は彼女のことをどう思っていたから驚いたのですか。理由を説明しなさい。

問四 ②「どうせハッピーエンドなんだろう？」とありますが、このときのRちゃんの気持ちの説明として、よいと思われるものを次の中から一つ選んで、記号で答えなさい。

- ア 現実には起こりえないことがおあつらえむきに起こる安直さが「嘘のお話」にはあるから、つまらないと批判する気持ち。
- イ 「嘘のお話」は、どれも同じような幸せな結末ばかりだから、いずれあきてしまうことになる私に警告する気持ち。
- ウ 私が熱心に読んでいる「嘘のお話」をRちゃんは今までに読んだことがあるから、結末を知っていると自慢する気持ち。
- エ 「嘘のお話」を読んでいる私に、結末はどれもそう変わらないのだから早く教えてあげたいというおせっかいな気持ち。
- オ どれも決まり切った展開の「嘘のお話」を私がどうして楽しそうに読んでいるのか分からず、不思議に思う気持ち。

問五 ③「お互い、読書休憩室での秘密を守るための約束を、暗黙のうちに了解し合った」とありますが、ここでの「秘密」とはどのような「秘密」ですか。説明しなさい。

問六 ④「私が『嘘のお話』を好むのに対し、Rちゃんが求めるのは『本当のお話』だった」とありますが、「私」は「本当のお話」についてどんな感想を持っていますか。説明しなさい。

問七 ⑤「いつしか私は自分の本を閉じ、彼女の声に聴き入っている」とありますが、このときの私の気持ちの説明として、よいと思われるものを次の中から一つ選んで、記号で答えなさい。

- ア Rちゃんの夢中で読む声に好奇心を刺激されて、その先にどんなことが書いてあるのかワクワクする気持ち。
- イ Rちゃんの静かな声に想像力を働かせて、思い描いた世界をずっと味わっていたような心地よい気持ち。
- ウ Rちゃんの穏やかな声に懐かしさをおぼえながらも、ひきこまれたままになるのではという不安な気持ち。
- エ Rちゃんの味わい深い声に心ひかれて、こういう場所を一緒に旅することができたらいいなあと期待する気持ち。
- オ Rちゃんの速くまで届く声に誘われて、「嘘のお話」よりも「本当のお話」の方がおもしろいと思う気持ち。

問八 ⑥「私とべべは彼女の邪魔にならないよう、じっと大人しくしていた」とありますが、このときの私の気持ちの説明として、よいと思われるものを次の中から一つ選んで、記号で答えなさい。

- ア 一文字一文字が感情を持っている生き物であるかのように説明するRちゃんの言葉に、納得せざるをえない気持ち。
- イ Rちゃんが最後の文字である「ん」の項目まで読んだ後どうなってしまうのだろうと、なんとなく心配になる気持ち。
- ウ 百科事典の中の言葉から確かな手応えのある世界をつむぎ出しているRちゃんには、かなわないと思う気持ち。
- エ Rちゃんがまるで言葉の世界をさまよっているかのような現実離れしたことを言い始めたことに、不安になる気持ち。
- オ 言葉をいとおしみ、その世界にひたりきってうっとりしている様子を見て、そんなRちゃんのことを大切に思う気持ち。

問九 本文最後の段落（読書休憩室に）についての説明として、よいと思われるものを次の中から一つ選んで、記号で答えなさい。

- ア Rちゃんが死んだことを受け止められず、読書休憩室の中どこかにまだいるはずだと、「私」があちこち探している様子が描かれている。
- イ Rちゃんが死んだ後、冷たいひまわりの椅子に触れて初めてRちゃんがなくなってしまったことを感じ、嘆き悲しんでいる様子が描かれている。
- ウ Rちゃんがなくなった寂しさを感じながらも、百科事典は、確かに彼女がいたことを示していると「私」が感じている様子が描かれている。
- エ Rちゃんが死んだことをみんながすぐに忘れてしまったことに怒りを感じ、自分だけは忘れてはいけないと「私」が意地になっている様子が描かれている。
- オ Rちゃんが死んだわびしさをかみしめながら、読書休憩室に百科事典を置いておけば、いつか懐かしい思い出になると考えている様子が描かれている。

採点欄には何も記入しないこと

受験番号

氏名

合計

1	①	②	③	④	⑤
2	①	②	③	④	⑤
3	①	②	③	④	⑤
	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩

問一	ア	イ	ウ	エ	オ
問二	①	②	③	④	⑤
問三	(1)	(2)			
問四	①	②	③	④	⑤
問五	①	②	③	④	⑤
問六	①	②	③	④	⑤
問七	①	②	③	④	⑤
問八	①	②	③	④	⑤
問九	①	②	③	④	⑤
問十	①	②	③	④	⑤

問一	①	②	③	④	⑤
問二	①	②	③	④	⑤
問三	①	②	③	④	⑤
問四	①	②	③	④	⑤
問五	①	②	③	④	⑤
問六	①	②	③	④	⑤
問七	①	②	③	④	⑤
問八	①	②	③	④	⑤
問九	①	②	③	④	⑤